

令和7年度 第8回（11月）教育委員会定例会 会議録

日 時：令和7年11月18日（火） 15時30分～17時00分

場 所：村民センター 大会議室

出席者：教育長 尾形 浩 教育長職務代理者 田中 博美

委 員 千 菊夫・増澤 智代・平野真也

事務局：教育次長 藤澤 勇 学校教育係長 原 久仁子

書 記：本間 裕子 以上8名 傍聴人：なし

1 開 会

2 教育長あいさつ

【南箕輪の風にて】

〈事前配付会議資料1〉

（1） 教育情報 ～共に学び合う～

○斎藤金司：長野県教育のこれからのあり方、理想像

～平成14年9月 長野県議会答弁から～

（2） 各校の授業づくり、児童生徒の姿から

【南箕輪小学校】

9月30日（火） 3年3組 算数の授業から

○課題解決型の授業スタイルを子どもたちが身につけている。

（問題→課題→個人追究→共同追究→まとめ→定着問題）

○深い学びに誘う場面あり

（児童の記述の中、児童の発言の中にあり。→さらなる教材研究を）

【南部小学校】

10月24日（金）南部小 音楽会の姿から

○みんなで作り上げた音楽会

・担任の指揮にこころをこめて精一杯歌う子どもたち、演奏する姿

・子どもたちの力を引き出し、クラスの心地よいハーモニーを創り出した各担任の指揮する姿

・演奏者の様子を真剣なまなざしで見つめている聴き手の姿

（聴き手が発表者の力を引き出す）

◇各教室の日々の授業から学ぶ（柄澤校長先生の力作）

先生方の授業の工夫しているところ、子どものよさを取り上げ、教員に配付している。（校内研修の具体）

※こういう取組を継続していくと、一人ひとりの教職員の授業力は向上していく（ずくと手間がいる取組）

11月 8日（土） 開校30周年記念事業から

「南箕輪村の150年」p128～129 開校当時の記録参照

【南箕輪中学校】

10月24日（金）南中 理科の全校研究授業

「手羽先を動かす筋肉について」

○一人一手羽先の環境のもと、課題をじっくりと追究する生徒たち

※課題「手羽先の皮をはがし、筋肉の付き方や動きを観察しよう」を追究する1時間

- ・「筋肉を押すと動く手羽先」を離さず、何度も筋肉を押している生徒たち（手羽先への愛着）

- ・50分では収まらない学習活動

（ $50+25=75$ 分授業の展開の可能性を感じた中身）

- ・筋肉と手羽先の動きをモデル化の中で科学的な見方・考え方を身につけたい。（構造化する力の育成）

【地域コミュニティーから】

10月25日（土）南原コミュニティーセンター 「おはぎの会」に参加

○3週間の自由登校のお試し期間を終えて、集団登校と比べてどちらが
いいか考える子どもたち

○夢のある学校について、自由に自分の考えを書いていく子どもたち

○クレープの準備をして提供してくれるスタッフの存在（10人程度）

子どもの居場所を創ってくれている地域の方々のありがたい動き

(3) 市町村教育委員会連絡協議会から(10月29日(水))※非公開

(4) 学校教育係から

- ①ICT事業担当の会計年度職員の配置へ(学校教育係):要望
- ②教育委員会評価委員会の開催(12月) 委員3名にて
- ③学校運営協議会(国型のコミュニティスクール)の設置へ向けて
- ④R7 文科省 「学校における働き方改革推進事業」に参加
- ⑤TOCO-TON 第2期への応募(提案書)

(5) 第6次総合計画・・・現段階での状況→おおむねこの方向になります。

※現在パブリックコメント実施中

(6) その他

- ① ※非公開
- ②図書館の拡張と2階の学習室の開放(～20:00)
- ③つどいのハーモニー案
- ④村民センター ホール全体の改善(ミニ絵画展、パネルの設置、入口の工夫、BGMを流す等)
- ⑤休日の地域クラブの指導者研修会(R7.10.24 実施)

3 付議案件

なし

4 報告・確認事項

(1) 各学校の授業づくり、児童生徒の姿から 〈事前配付 会議資料1〉
教育委員

○南部小5-2の算数の授業、2人、3人、4人でのグループ学習の様子、
力チッと型にはまったグループ学習でなく、柔軟でいいなと思う。
おはぎの会の子どもたちの意見にもあるように、今日一日自分でやることを
決めてやる学校もある。自分たちで内容を考えて取り組む活動も大事に
したい。子どもたちも、しっかり考えて、学び方を選択する意識がある。
本村でも、そういう姿が出てきていいなと思う。

(2) R7 文科省「学校における働き方改革推進事業」への参加について
〈事前配付 会議資料2〉

教育委員

○トヨタの「カイゼン」チームがある学校に入って、体育館倉庫の大玉等の置き方を変えたところ、物を取り出す時間が短縮され効率化が具現したというニュースを見た。外部の力を活用するよい例ではないか。

教育長

教育委員会と各学校だけでは、「働き方改革」も行き詰まりがちになってしまう。文科省委託の専門チームの支援をいただけることはありがたい。全国の先進校の情報をえながら、三校それぞれに適した改革を自分たちの力で実践していく方向を大事に考えたい。

(3) 村第6次総合計画 〃事前配付 会議資料3

教育委員

○p76 【まっくんの解説】といきなり「まっくん」という言葉が出てくる。まっくんのキャラクターのカットがほしい。

○p77 情報リテラシー※ の解説がp84の【まっくんの解説】の6番目にあるが、紙面での登場順が1番目なので、ここの順番も1番目であるべき。

○注釈の印 ※ の色を変えて、読んだ時に目立つようにできると、わかりやすい。

教育長

パブリックコメント実施中ですので、お気づきの点は連絡ください。

(4) 児童・生徒数について 〃会議資料4
〃会議資料にて報告

(5) 事故報告 〃会議資料5
〃非公開

(6) 各委員から口頭で

○伊那市創造館第35回企画展～日中戦争から戦後まで、壮絶な戦いの記憶～「ある一家の十五年戦争」を見てきた。1階の特別展示室では、特別展「伊那に眠る巨大な戦争遺跡」― 陸軍伊那飛行場とその時代2も開催中。資料を見ると、飛行場だけでなく、軍需工場建設、学校校舎転用を含めて、伊那のエリアにたくさんの関連施設があったことがわかる。駒ケ根の登戸研究所も含めて、伊南では飯島までのエリアでも同様であった。伊那市創造館は、神子柴遺跡の展示が主だと思っていたが、特別展にもなかなか力を入れている。令和8年3月23日まで開催されている。もう2回は行ってみたい。皆さんも機会あればぜひ。

○11月8日(土) 南部小の開校30周年の記念式典とイベントに参加した。オープニングの南部小卒業の中学生の姿がキラキラしていた。校歌も一緒に歌っている姿を見て、「つながり」を感じた。南部小の児童が「村民の歌」を大きな声で元気よく歌っていたことに驚いた。なかなかあそこまでは歌えない。

キャリアフェスティバルの27ブースの取組、全部見たかった。それくらい、素敵な取組であった。南部小の30周年記念イベントに協力しようとする保護者・地域の方々の気持ちがうれしい。児童に髪をカットする際に丁寧に説明する大人の方の姿、児童からの質問に真剣に答えている担当者とのやりとり、関係がとてもよかった。大変よい企画であった。協力してくださる方が地域にたくさんいて、ありがたいと思った。

○11月2日の村の文化祭のステージ発表にも、中学校の吹奏楽クラブが参加した。皆さんにとっても喜んでもらってよかった。上伊那農業高校の吹奏楽部員6名とのコラボも、話があったので、せっかくの機会だからということで、中高生が一緒になって実現できた。インフルエンザ等の影響で練習はあまりできなかったが、村の仲間として一緒に活動できたことはよかった。11月16日の長野日報の一面でも大きく取り上げられた。

○不登校生の出席に関するガイドラインが出された。知人との会話で、出席の有無が見える化されたが、ある程度学校に居なくても出席扱いになることで、逆に不登校の実態が見えにくくなるのではないかという懸念の声もあった。

また、カウンセリングを進められるが、特別の部屋の中に入ることそ

のものに抵抗を感じることもある。もう少し気楽に話ができるスペースがほしい。その方は、そういう気持ちを抱く保護者が気軽に集えるカフェを開きたいと言っていた。当事者でないと感じるこのできない感覚があると思った。

教育長

- 伊那市創造館の展示、戦後80周年ならではの企画。歴史を振り返ることの大切さを感じる。11月2日に「南箕輪村 150年」のお披露目があった。それを読むと、本村の歴史がよくわかる。水、遺跡、わさび田、大芝高原、飛び地（経ヶ岳）等。これらをテーマに掘り下げていくと、探究のテーマとして興味深い学びが展開できそう。その中に平和学習として、阿智村の満蒙開拓平和祈念館の見学も位置づきそう。歴史に学ぶことを大事に考えたいと思います。
- 南部小のキャリアフェスの取組、とても素晴らしかった。本日の長野日報では、赤穂小学校のPTAが主催した「お仕事フェス」の記事が紹介されていた。今年で3回目ということ。PTA離れとか、PTA活動の負担感が話題になりがちであるが、子どもを真中において、地域の大人が協力して取り組むイベントを大事にしていく、新たなPTA活動の方向があるのではないか。今こそ、社会力（他者を理解し、良好な関係を築き、よりよい社会を創ろうとする力）を発揮するときではないかと思います。
- 不登校生の出席に関するガイドラインは、不登校生の出席に対する負担感を軽くするためのものです。不登校生の状況把握、今後の支援等については、中学校においては週1回開催される適応支援会議で常に話題にして、よりよいかかわり方、サポート体制を具体的に検討しています。
- カウンセリングに呼ばれて個室に入るときの嫌悪感、当事者の感想をお聞きして参考になりました。気持ちを楽にして話せる場の提供については考えていきたいと思います。

今、こども館の研修室の壁を取って、オープンスペースとして、必要に応じてパーティションで小空間を作って対談や会議をするようにしています。こども達が気軽に来て、自由に談笑できる1つの場の提供と考えています。

(7) 11月事業報告・12月事業計画について

〈会議資料6〉

※会議資料にて報告

(8) 12月、1月の教育委員会定例会日程

12月24日(水) 15:00~17:00 村民センター小会議室

1月26日(月) 15:00~17:00 村民センター小会議室

(9) 文化財専門委員会委員について

〈会議資料7〉

5 その他

教育委員

- 図書館の拡張と2階の学習室の開放(～20:00) 良い方向。
- 図書館とホワイエを中心とした「つどいのハーモニー」の企画も楽しそう。ホワイエは暗い感じがするので、明るくしたい。
- 村民センター ホワイエ全体の改善(ミニ絵画展、パネルの設置、入口の工夫、BGMを流す等) 少しずつ変化がみられる。今までが殺風景であった。フォトギャラリーの経ヶ岳の花々の写真も素敵。村内には写真愛好家の方々もいるので、そういう方々の情報発信の場としても活用できそう。
- 南小・南中の登下校時の車での送迎場所の通知が出されたと思うが、特に下校時、村の公民館で待っている車があり、村公民館の利用者が駐車できない状況がある。改善したい。

教育長

- ・車での送迎場所の確認については、再度周知していきます。朝は、役場駐車場等指定の駐車場を利用するようになり、一定の効果が見られています。課題はお迎えの車の駐車場所。1回ではなかなか徹底しない状況があると思いますので、粘り強く呼びかけていきます。地域住民への周知も考えます。
- ・よりよい環境、文化の香りのする廊下・階段・ホワイエになるよう、少しずつできることから始めていきたいと思います。

6 閉 会

教育長

12月の定例教育委員会では、教育大綱の案を審議いただき、2月の教育総合会議に提案したいと思います。また、1月の定例教育委員会では、令和8年度 南箕輪村の教育 のリーフレットの内容についてご意見をいただきたいと思います。このリーフレットは、教育関係者（議員、役場の職員、学校の教職員、学校教育・社会教育関係者、保護者等）に配付して、本村の教育の方向と内容をご理解いただき、ご協力いただくためのものにしたいと考えています。本日のご参加ありがとうございました。